

テーマ

デジタルの道す入と紙の重西女性

I 「」のテーマの記事を選んだ理由を書いたのだ。

最近、私の身の回りでは様々なもののデジタル化が進んでいます。北区では、今年の四月から区立の小中学校に通う全ての児童、生徒に対して学習用のパソコンが配布されました。今後はデジタル教科書も普及して行くのだと思います。しかしそれに反して、デジタルよりも紙で学習する方が子供に良い影響を与えようという記事を読み、この先私達がデジタル媒体と紙媒体にそれぞれどのように関わっていくべきなのかを考えたことでした。そこでこのテーマの記事を選ばました。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

①について 各学校でのデジタル教科書の本格導入が検討されている中、幾つかの課題があり議論をされています。教科書会社によって操作方法等の仕様の違いの問題や、デジタル教科書の使用可能な期間が限られている為、前年度の教科書が見られなくなり事等が挙げられています。二〇二四年の導入を目指している事が分かりました。

②について 子供の時の読書量が大人になってからの各種能力の高さに関係するという調査結果が発表されました。また、紙の本で読書する人はデジタル媒体で読む人よりも様々な能力が高い傾向にあるそうです。子供の読書活動を後押しする為の取り組みをする自治体も多くある事が分かりました。

①と②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。

①はデジタル媒体を、②は紙媒体を推奨しています。より上げられてるのは異なる媒体ですが、どちらの記事も私を含めた学生が学習をしようとしていく上で欠かせない事について述べています。それぞれ媒体の利点と欠点を考察してみました。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

私は、学習面をする立場として二つの媒体について考えてみました。まず、デジタル教科書です。それは何物の量が膨らみます。パソコンはそれによって学習が進むという点は便利ですが、しかし、長時間の使用での視力の低下と、パソコンの使用の得手不得手によって学力だけでなく成績の差が生まれると思います。それに対して紙の教科書は機能面では劣りますが、読解力や自己理解力がより育まれ、内容を短時間で記憶できる等、学習の効果が高い研究結果が示されています。今回調べてみて、新しいコロナウイルスの影響でリモートが広まってこの事もあり、デジタル化はこのことを進めていくのにも感じました。その状況を踏まえた上で、今後はどちらの媒体が優れているかを議論するべきだと思います。それぞれの利点を活かし、欠点を補いながら共存して行く事が大切だと思っています。その中でも、デジタル化により生まれる教育格差は、なくしていくべき。二番目の課題です。私達は先述の通りデジタルを学び、各種能力を引き上げる紙に触れる事も続けていかなくてはなりません。私は、二つの媒体が共存していく社会にする為の取り組みについて、自分達ができる方法を探してみました。

発行日

8月30日

発行者(氏名)

田端
中学校
第3学年
生徒